

## II. 直近の5事業年度における主要な事業の状況

### 【主な経営指標の推移】

(単位：百万円)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
利 益	経 常 収 益	10,721	10,575	10,046	10,107	10,274
	業 務 純 益	1,497	1,254	956	1,335	1,634
	経 常 利 益	2,133	1,139	1,182	1,319	1,419
	当 期 純 利 益	1,491	766	1,084	920	798
出 資 金	出 資 総 額	1,050	1,050	1,053	1,054	1,052
	出資総口数(千口)	21,012	21,018	21,076	21,092	21,044
資 産 額	総 資 産 額	744,994	754,838	791,597	812,741	833,010
	純 資 産 額	54,763	52,791	53,208	54,494	51,042
残 高	預金積金残高	682,832	695,485	732,371	752,452	778,239
	貸出金残高	269,373	274,421	286,188	290,916	296,636
	有価証券残高	294,281	286,580	300,404	280,373	287,950
単 体 自 己 資 本 比 率 (%)	18.18	18.24	17.33	16.82	15.95	
出 資 対 する 配 当 金 (円 / 1 口)	3	3	3	3	3	
会 員 ・ 役 職 員 数	会 員 数 (人)	30,964	31,272	31,745	31,988	32,135
	職 員 数 (人)	638	645	657	649	629
	役 員 数 (人)	15	15	15	14	15
	うち常勤役員数(人)	11	11	11	10	11

## III. 直近の2事業年度における事業の状況

### 【主要な業務の状況を示す指標】

#### ●業務粗利益

(単位：千円、%)

	2018年度	2019年度
資 金 運 用 収 支	7,950,343	8,095,917
資 金 運 用 収 益	8,104,371	8,240,975
資 金 調 達 費 用	154,027	145,058
役 務 取 引 等 収 支	300,853	318,559
役 務 取 引 等 収 益	1,233,971	1,243,711
役 務 取 引 等 費 用	933,118	925,152
そ の 他 業 務 収 支	473,442	519,078
そ の 他 業 務 収 益	570,532	697,361
そ の 他 業 務 費 用	97,089	178,282
<b>業 務 粗 利 益</b>	<b>8,724,639</b>	<b>8,933,555</b>
<b>業 務 粗 利 益 率</b>	<b>1.12</b>	<b>1.12</b>

(注)業務粗利益率 =  $\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$

#### ●業務純益

(単位：千円)

	2018年度	2019年度
業 務 純 益	1,335,111	1,634,931
実 質 業 務 純 益	1,365,131	1,657,349
コ ア 業 務 純 益	1,032,178	1,261,361
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く)	1,032,178	1,113,470

注)1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)

業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。

2. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

4. 「実質業務純益」「コア業務純益」「コア業務純益(投資信託解約損益を除く)」については、銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令(令和元年9月13日)による改正を受け、2019年度分より開示することとなりましたが、2018年度分についても同様に算出したものを開示しています。